

めぐせ中核都市

草津市長選を前に

▷中◁

「川はごみ捨て場やな 四年の市制施行当時のほ 高さ約八尺、長さ約五十
い」。草津市の中心部を ぼ三・五倍の十一万三千 尺の巨大な機械が本格稼
流れる伊佐々川沿いに住 人に増えた。しかしごみ 働した。雑多な種類が混
む山本勘六さんモ〓波 は、人口の増加率を上回 じったごみを磁気や送風
川一丁目〓は、あきれ顔 った増えている。九一年 で分別する機械だ。
で川を見つめる。川には からの十年間で、人口は 同市は二〇〇〇年八月
しばしば、ビニール袋に 20%の伸びだが、ごみは まで、不燃ごみを福井県
詰められた生活ごみが流 83%も増え、年間のごみ 敦賀市の民間処分場に搬
されてきて、自宅前でせ の量は三万八千五百トに 出してはいたが、同処分場
き止められるからだ。「車 が搬入停止の行政処分を
で乗り付けて捨てる人も 受けたため、草津市のご
いる」という。 みも持ち込めなくなっ

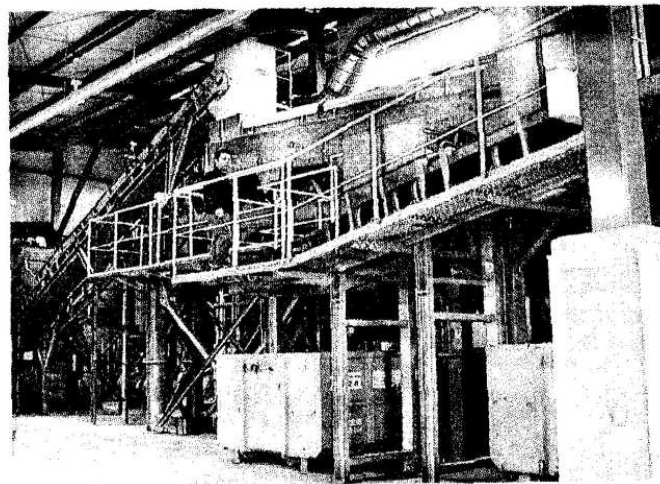
くらし

ひずみ呼ぶ人口増 悲鳴

この川には、かつてコ イやフナがすんでいた が、都市化が進むにつれ、 ポイ捨てが目立つようにな った。山本さんは毎日、 川のごみ回収を続けてい る。

同市の人口は、一九五 町市の市のごみ処分場で、 一千トは山のように仮置

た。 行き場を失ったごみ約 きの機械が分別し、埋 同市は、「市内から出 だごみは市内で処理す



1月から本格稼働したご みの大型分別機。中核都 市を目指す市には、ごみ 問題の解決が急務だ（草 津市御倉町）

る（加藤俊彦環境部長） と方針を固め、市内に新 設する処分場の用地を選 定しているが、候補地は なかなか見つからない。 仮に新設しても、十五年 ほどで満杯となってしまう。 都市のごみ問題は、 きつかりで二人ともヘッ 当分悩ましい状態が続き そうです。

都市化は、市民の行政 通院のため母親を車に 対する要望、意識も変 えた。かつて道路などの 「自分たちが倒れる前に インフラ整備が要望の中 心だったが、九七年の意 識調査では「高齢者福祉」 や「保健、医療、健康管 理」の充実を求める声の 上位を占めた。

なかでも二〇〇〇年四 月から始まった介護保険 ちづくりが求められる。

きざれていたが、導入し 阪湾に持ち込み始めた。 同市は、「市内から出 だごみは市内で処理す る」の充実を求める声の 上位を占めた。

なかでも二〇〇〇年四 月から始まった介護保険 ちづくりが求められる。

制度への関心は高い。こ の三年間で、特別養護老 人ホームの入居待機者は 三十五人から二百四十人 に増えた。

ガス会社を定年退職し て年金で暮らす元会社員 六人は、妻と二人で 軽い痴ほう症の母への 介護を続けている。母は 夜中にベッドから落ちて 起きあがれなくなったこ とがあり、二十四時間つ っきりで二人ともヘッ 社員も最近体調を崩し、 へともなっている。元会 社員も最近体調を崩し、 通院のため母親を車に 乗せるだけでも大変だ。

「自分たちが倒れる前に 入所させたい」と願っ ている。

全国トップ級の人口増 加地域の同市では、急成 長のひずみが市民生活の あちこちで起こっている。 安心して暮らせるま